

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年6月1日

事業所名 こもれび通所支援事業所 職員8名 回答率100%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	0	訓練スペースが狭いときは、配置物などを移動して確保しています。グループ分けなどとして対応しています。	年齢別や性別などで分けし、場所の有効利用なども行っています。
	2 職員の配置数は適切である	8	0	0	専門の知識を活かした配置や業務分担などで対応しています。	保育士、児童指導員、介護福祉士などの資格者を配置しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	3	手すりの設置や滑り止め設置、目印等でわかりやすくし、転倒や衝突回避に務めています。	職員配置、目印の追加等で環境調整していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	0	職員間で情報を共有しています。会議等で目標設定の見直しや、よりよい支援を考えています。	日報又は会議録等を利用し、情報共有に務めています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	0	個別支援計画書に盛り込んだり、業務改善につなげたり、口頭での質問等も即日に対応できるよう務めています。	各委員会や申し送りで保護者の意見をプログラムに取り入れている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	0	評価表は、もちろんのこと口頭での問いなどに即日に回答できるよう、その都度改善に務めています。	ホームページを開設し、保護者等向け評価表(アンケート)、および事業所の自己評価表等を公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	0	1	各相談事業所の相談員や教員、関係事業所等から評価等を伺っています。	現在検討しています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	0	リモート研修、オンラインセミナーなどで研修確保している。	現在は対面研修や事業所内研修など実施しています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	0	年度替わりや環境の変化、お子様の成長・発達に応じたアセスメントを行い、本人や保護者様のニーズを把握し、支援計画を作成しています。	変更時や年に1回以上見直しを行っています。
適切な支援の提供	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	1	標準化されたツールを参考に事業所で作成したアセスメントツールを使用しています。	個人の特性に応じたアセスメントツールも仕様しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	0	スタッフをはじめ、スタッフ以外に関係者とも共通理解したうえでのプログラム立案をおこなっています。	保護者や本人はもちろん事、相談員、学校関係者らと共通目的のもと、プログラムの立案をしています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	0	本人、保護者、スタッフの要望なども聞いて対応し、又本人が飽きないよう変化をつけて対応しています。	成功体験をふやしつつ、固定化しないよう苦手な療育内容なども細分化して対応しています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	0	0	休日・休暇は特別プログラムを組み、休日しかできない課題(時間をかけて取り組む制作や社会資源の活用、公共機関を利用した外出等)に取り組んでいます。	実生活の困り感や今後の起こりうるだろう困り感を想定した課題から外れないように又課題拒否しないよう配慮しながら支援している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	0	集団プログラムや個別プログラムを特性や発達状況を考えて組み合わせています。	活動の場合は、本人と特性の確認や見通し等を立てて意識できるようにさせています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	0	毎日、短時間職員もふまえて会議しているため前回の療育の引継ぎと併せて対応できている。送迎前に職員でその日のプログラムや前日の連絡事項を共有するようにしている。	当日開始前に状況が変化することがあるため、そこまで見通し立てて対応していきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	0	翌日に前日のミーティング等で共有し振り返り、変化や気付いた事などは、次の支援内容に活かすようにしています。	時間差出勤職員にも細かいところまで共有できるよう日報の整備やSNSの活用などで対応している。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	0	起こった出来事をわかりやすい表現で良い事も悪いことも記入する。	長期・短期目標や今日のねらいなどを念頭に記録も記入するよう心掛けている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	0	毎回参加し、利用児の近況などを確認しています。モニタリング後の報告は毎回回っている。	見直しや継続性の必要性などスタッフとも細かく情報交換しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	7	1	0	基本的日常生活動作や自立生活を支援するための活動、創作活動、余暇支援を組み合わせ、個人特性に合わせたプログラムを提供しています。	今後もガイドラインの総則に沿って対応し、5領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)も含めた支援内容を実施。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	0	担当者会議には、主に児童発達支援管理責任者が出席しています。	現状どおり対応していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	0	送迎時の先生との引継ぎ時、保護者や学校との電話連絡、保育所等訪問支援を活用するなどして学校との情報共有を行っています。	現状どおり対応していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	0	0	医療的ケアが必要なお子様や重症心身障害のあるお子様の利用はありません。	今後連携体制を整えていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	0	0	保護者様を通じて、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	現状どおり対応していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	1	0	障害福祉サービス事業所等へ移行する利用者は、今のところ該当なしです。	今後備えて連携体制整備中。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0	0	保護者様を通じて、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。助言を受けたりしているが、研修はしていない。	発達検査での結果内容を共有しや療育内容等の研修を行っていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	2	2	年に数回交流計画に努めている。	集団プログラムに組み込み地域交流をはかる。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1	3	他の機関からも情報を得ている。	自立支援協議会の情報収集の基、協議会の参加を考えている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	0	保護者のお迎え時や送迎時、連絡帳、電話、SNSなどで状況や課題についてお伝えしている。	現状どおり対応していきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	2	0	ペアトレの支援は実施していないのが研修にて対応方法を学んでいる。	複数の親御さんとは支援ができていないが個人各々で実施している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	0	契約時に規定を明確に提示し、利用者負担等についても丁寧な説明を行っています。	毎月、事前に自己負担分の確認について紙面に同意を求めています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	0	相談にはその都度対応しています。必要に応じて日時を改め時間を設け、助言と支援を行っています。	保護者様の悩み等を改善できるようスキルアップ目指しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	3	0	父母の会の活動はおこなっていませんが、保護者同士の紹介等を行い連携を促しています。	事業所行事の参加時に保護者会の開催を予定しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	0	いつでも相談して頂ける関係・環境を作るようにしています。その日の相談や申し入れはその日で管理者等に報告するよう対応している。	相談や申し入れがあった場合は、迅速かつ、適切に対応するようにします。苦情箱の設置や行政の苦情窓口の案内を行っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	1	行事予定は紙面でも対応し、活動内容はホームページやブログ等で発信しています。	ホームページの整備。保護者様に有益な情報の会報や連絡体制等を整備していきます。
	35	個人情報に十分注意している	8	0	0	個人情報などはファイリングし、目隠しなどで保管しています。	事務所内の掲示物等個人情報がもれないよう整備していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0	よりわかりやすく親切な対応を個々に考え工夫しています。	現状どおり対応していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	3	0	地域の美化作業や児童館の利用など少しずつ交流を増やしている。	地域行事に参加したり、事業所の行事に招待を予定している。
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0	0	定期的な会議で緊急時対応、防犯対応、感染症対策の再確認や模擬訓練を実施している。	事業所内にマニュアルを設置し、保護者様にはいつでもお読み頂けるようにしています。定期的に訓練を行い、最新の情報を提供していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	0	年2回以上、訓練を実施しています。想定災害に応じた避難訓練を実施しています。定期的に職員間で確認や話し合っている	災害の想定を変更することで職員や児童の訓練対応の方法が学べる
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	0	虐待マニュアル等で復習と研修等の参加で対応している。	外部研修を毎年数回受講し職員を交代して受講させ、全職員で共通理解図っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	3		身体拘束マニュアルで事業所に適した内容に更新している。	身体拘束委員会設置し研修等の情報を周知徹底している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	0	該当児童はいないが、契約時にアレルギーの有無や、その日の体調等は利用時に毎回保護者に確認するようにしています。	相談員や保護者との情報共有、アセスメントシート等から健康管理、状況把握を確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	0	事例確認し、全職員の注意喚起をかねている。	全職員共有できるよう定期的に確認していきます。